

学校別傾向と対策～大妻中学校～

算数

出題傾向

大問10問で50分間の試験となります。大問が多いことが大きな特徴です。難易度はそれほど高くないものの、出題の幅も広がるためどの単元でも卒なく処理する力が必要になります。頻出単元は、割合に関する文章題や規則性、点の移動、水量、角度などになります。また、すべての解答欄が記述形式になっており、部分点をもらうことができるという点も大きな特徴です。

合格への対策

大問が10問出題されることから分かるように、幅広く出題されます。そのため苦手とする単元を中心に満遍なく典型的な問題を抑えることが重要になります。「後半だから難しい！」と限りませんので、最後までしっかり問題が解ききれそうな時間配分を意識することも大切です。普段の学習でも1問1問の問題にかかる時間などを計測しながら学習をしていくと効果的です。また、途中式で部分点がもらえる試験ですので、普段の学習から式や言葉で考え方をまとめる練習もしておくといいです。普段、式が書けない生徒は、本番でも書くことはできませんので、練習から意識して学習することをお勧めします。

国語

出題傾向

物語文、論説文、詩と鑑賞文の3題構成が基本的なパターンです。それぞれ、文章量はボリュームがあり速読が求められるものとなっています。特徴的なのは語句の意味や用法を問う設問が多く、また知識の設問も多いことです。誤解を恐れず言えば、国語というよりは日本語の問題という側面が強いです。

合格への対策

普段から語句の用法や意味には敏感にならなければなりません。こればかりは体系的に出るものを学習するというのは困難です。積み重ねがものを言います。知識にしても文法や文学史に至るまでかなり幅広く出題されます。穴のない学習を心掛けましょう。これらの設問の比重は高めなので、軽視してはいけません。その他、読解に関わる設問は標準的ですから、通常の学習をしていれば問題はありませんが、速読速解を意識しましょう。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1 伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747



学校別傾向と対策～大妻中学校～

理科

出題傾向

30分間60点満点の試験になります。単元は幅が広く満遍なく出題されています。出題形式は、記号問題が中心であり、記述問題は出ても典型問題が中心になります。計算問題も出題はされますが、他校と比べると少なめの構成になっているため、高得点は取りやすい問題構成と言えます。ただ、計算問題の出題は少なめとはいえ、毎年必ず出題はされていますし、幅が広いのでどの単元でも、計算問題が出来ることが要求されます。

合格への対策

典型的な知識の出題率が非常に高いですので、一問一答形式で知識をしっかり定着させることが最重要課題となります。ここで、点数を取りこぼしてしまうと、他の教科に無駄な負担をかけてしまうことになり、合格が遠のきます。どの単元が出てきても不思議ではないことが大きな特徴となりますので、満遍なく制度を上げるとよいです。また、理科で一段階上を目指すのであれば、計算問題を意識するとよいです。ほぼ確実に出題される物理単元の典型的な問題を中心に対策をしていくことが大切になりますが、化学分野や地学分野、生物分野でも出題されますので、こちらの演習も大切になります。

社会

出題傾向

地理、歴史、公民の3題構成です。設問のほとんどが一問一答的な構成ですし、ほとんどの設問は基礎的な内容や用語を問うものなので取り組みやすいはずですが、逆に言えばほとんどの設問では差がつきにくいです。記述問題はやや難度は高めです。差がつくのはここでしょう。

合格への対策

一問一答を中心に基礎的なものを穴なく幅広く定着させることが合格の条件です。その上で差をつけるためには記述問題の対策も不可欠です。定番の記述問題ではなく、例えば歴史でいうとなぜ？という問い方をされますので、各事項に対して、なぜ〇〇なのか？も含めた高度な学習が求められます。テキストにはそういった記述がないものも出題されますので、独学ではやや厳しいでしょう。専門の塾、家庭教師について学習する方が無難です。

理数特化型進学塾 **進塾**

東京都北区赤羽西1-39-1伊藤ビル3階

TEL 03-5924-7747

